

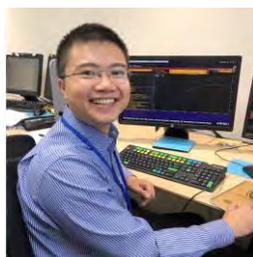
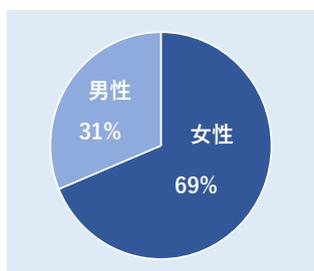
Summer Intern Report 2017

International Monetary Fund Regional Office for Asia and the Pacific



一目でわかる IMF アジア太平洋地域事務所 (OAP)

2017 年度のインターン



エコノミストインターン

ヴ・タン・チュン

ベトナム・ハノイ出身
政策研究大学院大学 (GRIPS) 在学中



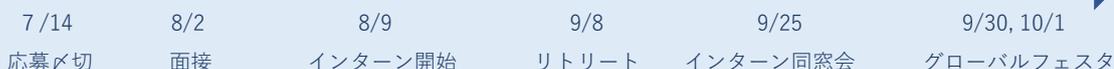
広報インターン

安野 優太

慶應義塾大学法学部政治学科 卒業
東京大学公共政策大学院 在学中



本年度のスケジュール (広報インターン)



オフィスってこんなところ



2017年に改装が完了し、素敵なオフィスに生まれ変わりました。ドアをくぐれば、風通しの良い、広々とした空間が待っています。

21階にあるため、オフィスからの眺めは見事です。眼下には緑眩しい日比谷公園が広がります。



グローバルフェスタ 2017 に出展

IMFを多くの方に知ってもらうためクイズを用意し、正解数に応じて IMF オリジナルグッズをプレゼントしました。今年は例年を上回る 300人以上の方にお越しいただきました。



今年はバナーとポロシャツを新調しました



“リトリート”

リトリートとは、仕事から離れてチームの絆を深めることをいいます。

午前には OAP 全体で生け花に取り組み、午後はグループに分かれてアクティビティを行いました。私たちのグループはベトナム出身のチュンおすすめのベトナム料理とボルダリングを楽しみました。



銀座・霞が関でランチ

インターン中には、職員の皆さまによくランチに連れていっていただきました。OAPには、多様なバックグラウンドを持った職員の方が集まっているので、こうしたランチ中での、キャリアのお話は大変勉強になりました。

インターンにインタビュー



Q1. ご自身の専門と志望動機について教えてください。

Trung

国際金融と政策分析を専攻しています。経済学に最初に触れたとき、Olivier Blanchard と Maurice Obstfeld の教科書を読みました。二人は私のもっとも尊敬する経済学者であり、彼らの IMF でのキャリアに影響を受けました。いつか IMF でエコノミストとして働きたいと考えており、OAP でのインターンはその最初のステップになると考え、応募しました。

Yuta

学部時代の豪州留学経験から、アジア太平洋地域の安全保障に関心があります。現在は国際法の視点を取り入れるべく、大学院で勉強中です。以前米国の政府機関で広報インターンを経験したのですが、一国をアピールすることと、国際機関の広報の違いを学びたいと思ったことが応募のきっかけです。

Q2. 応募書類はどのように準備しましたか？

Trung

履歴書と応募書類は数時間で準備できましたが、これまでに経験し、達成したことは、実は何年もかかっています。応募書類には、スキルを中心に書き、OAP でインターンをしたいという熱意を述べました。

Yuta

履歴書のフォーマットに指定がなかったので、和文は大学の履歴書を使い、英文は自由に記述しました。志望動機については、熱意が伝わるように、友人に添削をお願いするなど、練りに練ったことを覚えています。

Q3. お 2 人の仕事内容は？

Trung

主に、IMF ワーキングペーパーのためのリサーチをしています。市場への信頼性、外国為替におけるリスクプレミアム、金融政策、それぞれの関連性について調査を行っています。また、経済学のセミナーに参加したり、『世界経済見通し』の準備において、エコノミストのサポートをしています。

Yuta

広報資料の作成・翻訳と、グローバルフェスタへの出展です。過去の先輩方が作ったパンフレットやクイズを生かしつつ、それを印象に残せるように、クイズのアンサーシートを作成しました。IMF の業務は難しいものが多いのですが、パンフレット作りを通じて、IMF の業務を更に深く学ぶことができましたと思います。

Q4. エコノミストインターンに必要なスキルは何ですか？

Trung

プログラミングは、ビッグデータや計算の繰り返しから助けられました。経済分析のスキルは自分のアイデアを出したり、スーパーバイザーに意見を述べるために必要不可欠です。また、ロジカルシンキングのために、経済理論のバックグラウンドは役立つと思います。



Q5. インターン中、特に印象に残ったことは何ですか？

Trung

OAP インターンで初めてのベトナム人として、たくさんのアクティビティに参加できたことです。特に OAP のリトリートに参加できたことは印象に残っています。OAP の 20 周年を記念して行われたこのイベントですが、職員の方と交流を深めるきっかけとなりました。一日のプログラムの中で、チームに分かれ、生け花を行い、ランチを食べました。その後はボルダリングをして楽しみました。その後の筋肉痛はきつかったですね。

Yuta

国際機関ならではの広報の難しさです。どのデータや情報を公表するのか、特定の国の視点に偏ってないか、など様々な要素を考慮しながら資料を作成することは、とても大変でした。ただ、その過程で、IMF の広報の面白さにも気づきました。IMF は国際的通貨協力の推進のために活動していますが、その業務はほとんど一般に知られていません。その分、広報の役割は大きく、やりがいのある仕事だと感じました。

Q6. インターンを通して得られたことは何ですか？

Trung

職務経験を得られたのはもちろんのこと、IMF のリサーチの手法を学ぶことができたのは大きな収穫でした。博士課程では一つの理論的観点に着目することが多かったのですが、IMF のリサーチでは実証分析や政策的要因などを踏まえた、広い観点からの分析が求められます。今まで勉強してきた経済理論をどのように現実の政策分析に落とし込むのかを学ぶことができました。

Yuta

資料を作成する際や、メールを一通送る際にも、「相手から見たらどう映るのか」という点をより意識するようになりました。実際の業務においては、所内の手続き、対外交渉も全て任せてくださり、大変勉強になりました。様々なことに挑戦させていただき、新しいことにチャレンジする積極性も身についたと思います。

Q7. 将来の夢を教えてくださいませんか？

Trung

金融と為替市場に専門性を持ったエコノミストになり、IMF で働くことを目標にしています。各国政府は経済分野における政策協調を促進するべきだと考えていますが、こうしたときに IMF などの国際機関の役割は重要です。こういったプロセスに貢献したいと考えています。

Yuta

現在学んでいる国際政治や国際法に関連する仕事に就き、アジア太平洋地域の発展に貢献したいと考えています。まだまだ模索段階ですが、今回の OAP でのインターンを通じ、将来的には国際機関で働きたいと思うようになりました。

Q8. 将来のインターン候補生に向けてメッセージをお願いします。

Trung

OAP では自由にリサーチを進めることができました。自由は同時に責任を伴います。こうした環境において、強い意志と一貫性が困難を乗り越える上で重要だと思います。エコノミストの皆さんは、よくリサーチを旅になぞらえ、「笑顔で」「楽しい旅を」という言葉をかけてくださいました。私も同じ言葉を皆さんにお伝えしたいと思います。

Yuta

IMF でのインターンの魅力は人だと思います。多様なバックグラウンドをお持ちのスタッフの方々からお話を伺い、今後のキャリアを考える際の指針を得ることができました。この魅力を最大限に生かすために、幅広い視野と柔軟な姿勢を持つことが大切だと思います。国際機関に興味をお持ちの方は、ぜひ OAP でのインターンに挑戦してみてください！



インターン最終日
エントランスにて



グローバルフェスタでは、
小学生からシニアまで、
様々な国籍の方に IMF の
業務を紹介しました！

歴代インターンにインタビュー

過去に OAP でインターンをされたお二人に、OAP での経験と現在のキャリアについて、お伺いしました。

まなべ のりと
真鍋 理人 様

2014 年 広報インターン
三井物産株式会社

インターンではラガルド専務理事の来日と重なり、日本や世界のリーダーと仕事で関わる機会を持てたことは素晴らしい経験でした。現在は米国産天然ガスを輸出するプロジェクトに携わっています。IMF と当社で方法は違えど、世の中をより良くするという理念は共通しており、世界のエネルギーの安定供給に貢献する仕事にやりがいを感じています。



たちかわ ななみ
立川 七美 様

2015 年 広報インターン
コンサルティング業界

戦略コンサルタントとして、主に官公庁系の案件に従事しています。直近では、海外起業家の日本におけるビジネス拡大を支援しています。OAP で学んだ、様々なステークホルダーを巻き込み事業を進めていく力が役立っています。



数字でわかる OAP でのインターン

2003 年 インターン開始

29 人 歴代インターンの人数

8 カ国 インターンの出身国

2 人 現在 IMF 本部で働いている過去のインターンの人数

出身地域

日本
72%

海外
28%

男女比

男性
34%

女性
66%



インターン同窓会

9月25日、銀座のイタリアンレストランにて、インターン同窓会が開催されました。美味しいご飯とお酒を楽しみながら、キャリアのお話から、日常のお話まで、様々な話題で盛り上がりました。このような会が年に一度開かれ、先輩方とお話ができるのも OAP インターンの魅力です。



このレポートは、安野優太が取材・執筆しました。